

令和6年飯田市議会第1回定例会一般質問通告表

令和6年3月12日、13日

No.	氏名	項目・要旨
1	古川 仁 (日本共産党) 【 30 分 】	<p>1 市の危機管理について</p> <p>(1) 大規模な震災時での水の確保について</p> <p>① 大規模な震災時、断水が予想されるが、市の水の確保は</p> <p>② 能登半島地震でも井戸水の重要性が報道されていたが、井戸水に対する市の考えは</p> <p>ア 避難所等への井戸の設置状況は</p> <p>イ 震災時、井戸水をくみ上げるための電源について</p> <p>2 市の子育て支援について</p> <p>(1) 国が進める「こども誰でも通園制度」について</p> <p>① この制度に対する市の考えは</p> <p>② 一時預かり事業と同様となると保育の質の低下が懸念されるがどうか</p> <p>③ 保育の現場では安全や体制の確保など不安との声もあるが、市の対応は</p> <p>3 市の福祉について</p> <p>(1) 難聴の方への支援について</p> <p>① 難聴者が日常生活を維持するためには補聴器が必要不可欠と思うが、市として補聴器助成の考えは</p>
2	小林 真一 (公明党) 【 60 分 】	<p>1 これからの災害対策について能登半島地震から見えてきたものは</p> <p>(1) 令和6年度当初予算(案)における「地域のつながりと防災力の向上」への市長の思いは</p> <p>(2) 地震災害時の水の確保について</p> <p>① 飲料水について標準的な家庭が必要とする備蓄量は、また災害備蓄倉庫の備蓄量の考え方は</p> <p>② 各地区における水の確保に関わる不安や課題を地震被害想定調査に反映させる考えは</p> <p>③ 当市における公共の災害井戸、井戸水、湧水の管理、把握状況は、また重要性への認識は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 林 真 一 (公 明 党)	<ul style="list-style-type: none"> ④ 上水道、井戸水及び湧水の水質検査の頻度や料金は ⑤ 飲料水の確保について地元企業との連携は ⑥ 飲料水の確保の面から液体ミルクを備蓄する考えは <p>(3) 災害時の支援活動の機動力確保のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 能登半島地震から見えてきた機動力確保の重要性と課題は ② 市における赤十字奉仕団のバイク隊の活動状況や位置づけは、また課題は ③ 災害時の自転車の活用の可能性についてはどう考えるか <p>(4) これからの災害対策における地域コミュニティについての市長の考え方は</p> <p>(5) 避難所の環境整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学習環境の改善と災害時の避難所機能強化のため、小中学校の体育館へのエアコン設置を計画的に進めてはどうか ② 避難所開設・運営マニュアルの見直しなど、女性リーダーの育成や登用の考えは <p>(6) 災害ケースマネジメントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 被災者の生活再建へ向けた足掛かりとしてどのようなものか ② 当市における取組状況は ③ 能登半島地震など、過去の災害から見えてきた課題と対応策は
3	小 平 彰 (新 政 い い だ) 【 40 分 】	<p>1 災害に対する考え方について</p> <p>(1) 大規模災害時の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 南海トラフ地震に対する市の被害想定をどのように捉えているか ② 市が配備した災害時使用備蓄品は十分か ③ 災害時の市民に対する情報伝達体制は十分か

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 平 彰 (新政いいだ)	<p>(2) 災害に備えての体制について</p> <p>① 自主防災活動の取組状況を市はどう認識しているか</p> <p>ア 各地区の自主防災会組織の現状と課題は</p> <p>イ 自主防災機能を充実していくための市の今後の取り組みはどうか</p> <p>② 消防団員及び飯田市赤十字奉仕団員確保に向けて</p> <p>ア 現状と課題をどう認識しているか</p> <p>イ 団員確保に向けて市はどのような取り組みを考えているか</p> <p>2 市の大規模事業について</p> <p>(1) リニア中央新幹線関連について</p> <p>① JR東海の「開業時期2027年以降」の発表による影響は</p> <p>② リニア駅前広場及び駅周辺道路の整備に向けたスケジュールは</p> <p>(2) 大規模事業の見通しについて</p> <p>① 長期財政見通しと大規模事業の整合は</p>
4	市 瀬 芳 明 (日本共産党) 【 40 分 】	<p>1 eスポーツの考えについて</p> <p>(1) eスポーツをどのように捉えているか</p> <p>① eスポーツに対する市の認識は</p> <p>② eスポーツのメリット、デメリットは</p> <p>③ 市で行われているイベントなどはあるか</p> <p>(2) eスポーツの持つ可能性について</p> <p>① 地域振興に活かせるか</p> <p>② 教育ツールとして成り立つか</p> <p>③ 共生社会へのツールとしてはどうか</p> <p>2 誰でも安心でき暮らしやすいまちを目指すための考えについて</p> <p>(1) 障がい者差別解消法の改正内容について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	市瀬 芳明 (日本共産党)	<ul style="list-style-type: none"> ① 何が変更されたか ② 合理的配慮の提供とはどのような配慮を指すのか ③ 市ではどのように周知しているか、また周知が進んでいると考えるか <p>(2) ユニバーサルデザインの考えについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 物的環境への配慮の状況は <ul style="list-style-type: none"> ア 社会的障壁の除去は進んでいるか ② 新たな補助金創設の研究はしてきたか ③ 意思疎通への配慮の状況は <ul style="list-style-type: none"> ア 市の窓口対応の状況は イ 緊急時の伝達方法は
5	西 森 六 三 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 地域医療支援病院及び基幹病院である飯田市立病院について</p> <p>(1) 飯田市立病院の病院経営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① コロナ感染症が5類に移行となり、コロナ関連補助金が減額となる中で病院経営の現状は ② 経営上の問題点はあるか ③ 経営の安定化に向けた今後の取り組みは <p>(2) 地域医療支援病院としての選定療養費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 2022年10月に初診5,500円から7,700円に、再診2,750円から3,300円に料金改定されているが算定根拠は ② 選定療養費の検証について <ul style="list-style-type: none"> ア 近年の選定療養費の請求件数と総額の年間の推移は イ 選定療養費は、専門医療や高度先進医療及び3次救急等の重症医療を診療対象としており、軽症者の直接来院に抑制を促す目的を持った特別診療費と思うが、その効果の検証は ③ 選定療養費負担に対する理解度を上げるための周知方法は十分か

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	西 森 六 三 (会派きぼう)	<ul style="list-style-type: none"> ④ 直接来院時における選定療養費負担の除外となる条件が示されているものの、判断基準が明確でない部分があるが、どのように運用しているか ⑤ 今後、選定療養費の増減を診療収入源としてどう考えるのか <p>(3) 医療スタッフの専門資格について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 看護師における専門看護師、認定看護師、認定看護管理者等の専門資格について <ul style="list-style-type: none"> ア 取得の推奨の考えは イ 取得するための優遇制度を設けているか ウ 取得後の待遇はどうか エ 特定行為看護師養成に対する考え方は ② 医師等の各種医療スタッフ分野の専門資格に対する考え方は
6	福 澤 克 憲 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 コロナ禍からの物価高騰における子育て世帯、市民生活の状況について</p> <p>(1) コロナ禍における支援制度終了後の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生活福祉資金制度(緊急小口資金・総合支援資金)の返済免除(コロナ特例措置)・償還状況、現行制度の活用状況は ② 生活保護世帯の認定状況は <p>(2) 物価高騰対策給付金事業等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 子育て世帯生活支援特別給付金(低所得世帯)の支給状況は(国5万円、県3万円) ② 生活応援追加給付金(住民税非課税世帯)の支給状況は(1世帯7万円) ③ 生活支援金(水道料金負担軽減含む)の交付状況は(全世帯1万円) ④ 生活応援給付金(住民税均等割のみ課税世帯:1世帯10万円、住民税非課税世帯・住民税均等割のみ課税世帯の児童1人5万円)の進捗状況は <p>(3) 児童扶養手当の受給者の状況は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福澤 克憲 (会派きぼう)	<p>(4) 福祉医療費(ひとり親家庭等)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 助成額、対象者の状況は ② 現制度は所得制限を児童扶養手当に準拠しているが、所得制限をなくす考えは <p>(5) 就学援助費の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 認定状況は ② 支給方法についての県内他市町村の対応状況と市の研究状況は <p>(6) 各支援制度に共通する要件等(生活保護世帯、住民税非課税世帯、住民税均等割のみ課税世帯、児童扶養手当認定世帯等)を共有し、横の連携を図ることで、事務処理の軽減につなげてはどうか</p> <p>(7) 地方財政計画に掲げられている「こども・子育て政策の強化に係る地方財源の確保」、普通交付税の新たな算定費目「こども子育て費」をどう捉えているか</p>
7	清水 勇 (会派きぼう) 【 50 分 】	<p>1 令和6年度当初予算について</p> <p>(1) 令和6年度当初予算のポイントと予算編成の基本的な考え方は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① いいだ未来デザイン2028中期計画の着実な推進について、9項目掲げているがその内容は ② 飯田市当初予算(案)の概要では戦略計画における基本目標ごとの主な事業が148項目を掲げている <ul style="list-style-type: none"> ア 令和6年度の事務事業は328あり、主な事業として148項目取り上げているのはなぜか イ 148項目のうち新規、拡充、継続とあり、新規と拡充が多いと思うがその考え方は ウ 予算編成の中で廃止事業はあったか エ 一般会計の予算額が過去最大になった要因は オ 令和6年度一般会計の地方債が増加し、財政調整目的基金が減少するが、財政に無理のある予算になっていないか <p>(2) 今年度は市長就任後4年目の予算編成に当たり、市長は14項目のマニフェストを踏まえたか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清 水 勇 (会派きぼう)	<p>① 4年前市長は、対話と現場主義で心通う市政をつくる、また再構築した「新・環境文化都市」創造プランを掲げ「自然よし、くらしよし、経済よし」の「日本一住みたいまち」を目指すと発言した。4年目を迎えてどう総括して予算編成に臨んだか</p> <p>② 任期は後8ヶ月あるが、市長の市政に対する今後の考えは</p> <p>2 天龍峡国定公園の安全対策について</p> <p>(1) 遊歩道の安全対策について</p> <p>① 遊歩道の整備と安全対策の現状は</p> <p>ア 鉄柵と木柵の安全対策は</p> <p>② 昨年の豪雨で龍江側の遊歩道が崩落しているが、現在の取組状況は</p> <p>ア ゲリラ豪雨の影響と考えられるが、今後の対応は</p> <p>(2) 国定公園内の木々の管理について</p> <p>① 2月26日に、天龍峡では突風があり公園内の木が倒れ姑射橋(こやきょう)近くの民家の屋根を破損したが、公園内の木々の安全確認と管理状況は</p> <p>② 伐採した方が良いと思われる木や、倒れ止めの補強をした方が良くと思う木が国定公園内にあるが、市の考えは</p>
8	木 下 徳 康 (新政いいだ) 【 40 分 】	<p>1 脱炭素の取り組みについて</p> <p>(1) ゼロカーボンシティ宣言をした飯田市ではあるが、「カーボンマイナス」という概念をどう捉えるか</p> <p>(2) 飯田市が行う先進的な環境施策は企業誘致につながるか</p> <p>① RE100の評価と加盟企業の今後の展開をどう考えるか</p> <p>② 飯田市の企業誘致はRE100加盟企業、あるいは脱炭素に積極的な企業を中心に据えてはどうか</p> <p>③ 脱炭素に積極的な企業の誘致に相応しい市となるには</p> <p>2 人口が減少する中での松尾浄化管理センターのあり方について</p> <p>(1) 松尾浄化管理センターの現状は</p> <p>(2) 松尾浄化管理センターの発電について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木下 徳康 (新政いいだ)	<ul style="list-style-type: none"> ① メタンガスによる発電は脱炭素の観点からもさらに進めるべきではないか ② 飯田竜水園の汚泥を松尾浄化管理センターのメタンガス発酵に活用できないか ③ メタンガスによる発電の売価は、固定価格買取制度で39円/kWhであるため場内使用でなく売電してはどうか <p>(3) 今後の松尾浄化管理センターのあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人口が減少する中で、殊に飯田竜水園のし尿の処理量は減少していることもあり、松尾浄化管理センターと飯田竜水園を統合する検討も必要であると思うがどうか ② 松尾浄化管理センターを管理する上下水道局を利用する市民は、「お客様」か「オーナー」か
9	宮脇 邦彦 (公明党) 【 40 分 】	<p>1 社会構造の変化による市民の尊厳を守る取り組みについて</p> <p>(1) 終活支援をどう考えるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 当市における2040年将来世帯推計をどう見るか <ul style="list-style-type: none"> ア 世帯総数、夫婦と子の世帯、夫婦のみ世帯、単身世帯(うち65歳以上世帯)は ② 終活支援とは、どうあるべきか <ul style="list-style-type: none"> ア 当市における、引き取り手のない遺骨の処置は イ 終活支援の先進地、横須賀市での生前意思を生かす行政の取り組みをどう捉えるか ③ なぜ当市では、終活が問題視されて来なかったのか <ul style="list-style-type: none"> ア 当市における終活相談件数の実態はどうか イ 終活が問題視されない要因をどう考えるか ④ 身寄りのない人、頼れるご家族やご親族のいない人へ、その人の終活への意思をどう確認するか ⑤ 高齢者台帳整備の見直しや、単身世帯への聴き取りの必要性をどう考えるか ⑥ 社会的孤立対策ともなる、終活支援の本質をどう捉えるか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
10	佐々木 博子 (会派みらい) 【 40 分 】	<p>1 飯田市の新しい公共交通について</p> <p>(1) 公共交通の利用対象者はどの層を想定しているか</p> <p>(2) 交通弱者を「歩ける弱者」と「歩けない弱者」に分けて考える必要はないか</p> <p>(3) 路線バス・乗合タクシーの運行ダイヤ・停留所の見直しをどのように考えているか</p> <p>(4) 運転手不足への対応について</p> <p>(5) AIオンデマンド交通の導入をどう考えているか</p> <p>(6) 飯田市のまちづくりにおける公共交通のあり方をどのように考えるか</p> <p>2 一人ひとりがイキイキと活躍できるまちづくりについて</p> <p>(1) 「自分の食器は自分で洗おう運動」の真意は</p> <p>(2) 男女がともに活躍できる環境づくりと無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の影響について</p>
11	下 平 恒 男 (新政いいだ) 【 30 分 】	<p>1 公民館の設備充実と避難所としての役割について</p> <p>(1) 20地区公民館の空調設備の設置状況は</p> <p>① 施設全体としての設置状況は</p> <p>② 今後の設置計画とその基準は</p> <p>③ 有事の際に利用が見込まれる、調理室への設置状況は</p> <p>(2) 公民館の避難所としての役割について</p> <p>① 4年ぶりに実施された、地震総合防災訓練の状況は</p> <p>② 災害発生時の住民の避難手順と、公民館の避難所としての役割は</p> <p>(3) 多くの役割が求められる20地区公民館の空調も含めた施設の充実に向けた今後の方向性は</p> <p>2 農地法の下限面積撤廃による農家資格の考え方について</p> <p>(1) 令和5年4月の下限面積撤廃後の農地利用の状況は</p> <p>① 近年と比較して農地の利用状況は改善しているか、また下限面積撤廃が要因となった好事例はあるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	下 平 恒 男 (新政いいだ)	(2) 農家資格の考え方について <ul style="list-style-type: none"> ① 新規就農者や農地の借り入れ希望者への対応は ② 新しい基準の必要性は
12	筒 井 誠 逸 (新政いいだ) 【 30 分 】	1 飯田市のDX推進について <ul style="list-style-type: none"> (1) 市民のために何を推進してきたか <ul style="list-style-type: none"> ① 市民にとってメリットがあった具体的な事例は ② 公共施設や葬祭火葬等の予約から支払いまで完結できるシステムの導入状況は ③ 市民にデジタル技術を身近に感じてもらうための取り組みとして、初心者向け講習会及びデジタル体験会の開催状況は ④ マイナンバーカードを用いたオンラインによる転出入手続きの利用状況は。また、マイナンバーカードの普及率は (2) 庁内のDXの推進について <ul style="list-style-type: none"> ① DXによる効率的な事務処理や業務プロセスの見直しができる具体的な事例は ② DX推進に向けた推進体制は ③ 相談業務のオンライン化はどうか ④ 広聴のDX化の現状と今後の対応をどう考えるか
13	関 島 百 合 (会派みらい) 【 40 分 】	1 移住・定住施策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 飯田市の移住・定住施策が成果をあげている要因は (2) 飯田市に移住した人たちとの関係づくりをどのように行っているか (3) 教育を介する人の流れについて <ul style="list-style-type: none"> ① 教育移住の実態はどうか ② 地域外の中学・高校へ進む生徒の現状はどうか 2 市の教育施策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 人口減少が進む中で、市はどのような教育を目指していくのか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	関 島 百 合 (会 派 み ら い)	<p>(2) 令和4年度から始まった高校の「総合的な探究の時間」をどうサポートしていくか</p> <p>(3) 交通体系の変化に伴い、人流にも変化が起きることが想定されるが、「飯田市これからの学校のあり方審議会」ではどのような検討がなされているのか</p> <p>3 出産と産後ケアについて</p> <p>(1) 飯田市立病院の産科について</p> <p>① 現状と課題は</p> <p>② 先進事例をどう捉えるか</p> <p>③ 出産した女性たちの声にどう応えていくか</p> <p>(2) 産後ケアについて</p> <p>① 飯田市の取り組みの特徴は</p> <p>② 産み育てやすい環境づくりの一助として、出産した女性たちをどう支えていくか</p>
14	原 和 世 (会 派 み ら い) 【 40 分 】	<p>1 飯田市のこれからの学校のあり方について</p> <p>(1) 「飯田市これからの学校のあり方審議会」の審議経過に関して</p> <p>① 学級・学校の適正規模は</p> <p>② 保護者アンケートは</p> <p>③ 特色ある教育活動は</p> <p>④ 地域と学校との関係性は</p> <p>⑤ 小中一貫校と「9つの学園」構想は</p> <p>⑥ 今後の取り組み方は</p>